



やりたかったこと

BN 862 有田 雄一

題字 廉隅 進

第 65 号

明治大学体育会
ワンダーフォーゲル部
なため会会報

皆様ごぶさたしています。私は現在、大分県日田市の田舎家で一人暮らしをしています。この暮らしは思いがけず始まったものではありませんが、気の向くまま音楽に浸る生活を楽しんでおり、それは私が大学在学中からやりたかったことに近いものかもしれません…

「あかん。そんなん、部続けながらでもできるやろ。お前はうちの部のことがまだわかってへん。」一年生の夏合宿の後、退部希望を伝えるに訪れた先輩の下宿で、そう返された。先輩が「そんなん」と言ったのは、大学で私が一番やりたかった、音楽グループをつくって活動する、ということに対してだった。

（「こんな部やってたら、音楽やる余裕なんか、あるわけないじゃん!」と心では抗いながらも、結局私の大学生活はMWWV中心で終わった。



にどう向き合つのかと日々悩み、また共稼ぎの生活は余裕がなく、バンドなど望むべくも

しかし、一番やりたいことが音楽であることは変わらず、その志向はフォークからロックに移り、エレキギターを買ったために、バイトをすることも多かった。小学校の教職員として社会人となっても、趣味は音楽だった。しかし、子ども

なかった。

それが突然実現したのが、二十年前のこと。仕事を通して知り合った友人と久しぶりに再会し話していると、この数年会わない間に彼はドラムを始めたと言つ。私はちょうど学校現場から市の教育委員会に勤めが変わり、オン／オフがはっきりした生活になったこともあり、そこから二人のユニットを結成し、さらにベースも加わって本格的なバンド活動が始まった。

いろいろなイベントに出演し、単独でのライブも開催していたが、定年を機に日田に移住したことで距離的に活動が制限され、最近では月一回程度の練習をするにとどまっていた。しかし現在、秋に行われるライブイベントの出演をめざし、計画を進めているところである。

一方、日田に新たな音楽仲間もでき、アコースティック・ギターでの弾き語りを中心としたユニットも結成した。また、それに伴って自分のポーカーの弱さを自覚し、ほぼ週一のポーカー・レッスンを受けながら、週末には近くの観光名所での野外ライブを中心として活動している。

今後は七月末にライブ喫茶での演奏で、十月には日田市民音楽祭で、ジャズバンドのギタリストとしてもステージに立つ予定である。

そんな私だが、山を忘れたわけではない。我が家から同期会の名前にもなっている九



重連山は車で一時間ほど。腰のヘルニアなど定年直後のトラブルが落ち着いてきた頃から、九重を中心に、時には山行も楽しんでいる。また、日田は一つ下の代の主将、行村君の地元でもあり、物心両面で心強く、時折出張で訪れる佐藤君と三人での飲み会も楽しい恒例行事となっている。

こうして改めて振り返ってみると、我ながら今の生活は充実しているなと感じます。そしてその半分は、もしかしたらそれ以上が、あの時先輩が「あかん」と言っていてMWVに引き留めてくれたおかげだろうと感じています。

定年以降20年余の交遊抄

BN 441 小中 隆

昭和33年(1958年)入学し、1年次の合宿は山形県月山、2年次石川県白鳥山、3年次岩手県若手山、4年次愛媛県石鎚山だった。

監督は4年間鈴木善次郎氏にお世話になった。2年次の新人歓迎Wで同じ班であった小林貞雄、田中美輝(東京都出身)、三ツ村正人(小松市)、小中 隆(長崎市)の4名は気が合い、これまで長い交流を続けてきた。

サラリーマンの現役時代は社業に専念し、近くに行った折には会うこともあったが、現役を終える頃(2000年)より年2回温泉に入り色々人生を語ることで続けることにした。また幹事も持ち廻りとし、日本各地の名所・温泉巡りで会ってきた。1992年9月に田中が名古屋にいた頃、小林と小生が名古屋に行き田中の車で熊野神社、那智の滝、更に和歌山・三重・奈良県境の「静八丁峡」を旅したことが忘れられない思い出となり、これがその後の方向づけとなった。

第1回は2000年11月、富山県称名滝、魚津、宇奈月、和倉、山中温泉へ行く。当時転勤族の田中が富山にいて我々を呼んでくれ、小松在住の三ツ村も参加した。その後の会合は在京3人組で会うことが多く、夫婦交えての交流となった。

小林の実家は旧本館地下にあった部室を出てすぐ近くの神田猿樂町で出版業を営んでいたのによくお邪魔させてもらった。その後神田三崎町で文房具の法人向け販売や自治会でも活躍していた。このため、千代田区の施設も利用出来て、軽井沢、湯河原、強羅の保養所へも一緒によく出掛けた。小林の息子さんが剣道をはじめたので自分も一緒に練習し、



2000年11月富山・石川の旅
左から 三ツ林、小林、田中、小中

43才からはじめ77才で教士七段を取得した努力家でもあった。

2006年には小林の世話により3夫婦でJRを乗り継ぎ、群馬県四万温泉積善館に行ったが、この風呂はローマ風呂風で、6月と8月の2回も続けて出掛けた。食事中にかもしかが出てきた時は腰を抜かした。

2007年4月には小林と同期だった後藤さん経営の福島県高湯温泉玉子湯にお世話になった。この宿はJR東日本との連携の「のんびり小町」で売り出されており、硫黄泉でよく体が暖まった。

2007年5月連休には神田三崎神社の大祭で法被を借りて神輿をかつがせてもらった



2001年2月横浜中華街

こともあった。2012年の忘年会では田中の世話で西麻布の権八に行った。8年前小泉首相が米ブッシュ大統領を招待した店で昔風の大家酒場の雰囲気が残っていた。2013年夏には小生の担当で国立演芸場での落語を楽しんだ後、銀座の長崎料理を食べ、馴染みのバーで一杯やり散会した。2014年10月には3人で明大ホームカミングデーの折、神田神保町でランチを食べマンドリンクラブの演奏を聴いて散会した。

2016年8月、暑気払いで三夫婦集まり横浜崎陽軒で会食。2017年4月、神田如水会館で天婦羅を食す。小林が甲状腺ガンを切除した快気祝いだっ。2018年7月、

横浜の我が家へ小林、田中夫妻を招待し会食。2018年8月、新宿メディカルセンター病院へ入院中の小林を見舞う。胆管ガン2期の由。2019年3月、小林の体調も持ち直したので、強羅へ3名で2泊3日の旅へ行く。2019年12月、同じ強羅へ3名で行く。

2020年に入り小林の体調がすぐれず、小林より会いたいというメールがよく届くので、田中と共に1、2月はよくお見舞いに行った。三ツ村へも電話すると小松より日帰りで3月8日に見舞い、また来るよ、と言って帰るも、同19日に小林貞雄君逝去、享年81才、胆管ガンだった。

小林と小生は加賀白山合宿の解散後2人で三保の松原、出雲日御碕、広島と旅し、ここで別れ長崎へ帰省した。振り返れば卒業以来62年間のつき合いで奥様より長いつき合いとなった。定年後の交遊は22年間で46回にも及んだ。まだ田中、三ツ村は健在なので、同様のつき合いを楽しく続けていきたい。

「下り坂登山隊」山行記

BN 831 田中 幸彦

某日、同期のO君から旅行のお誘いのメールが届いた。

職を離れて2年、新型コロナウイルスの騒動で、せっかく時間に余裕ができたのにほとんど外出する機会がない生活を送っていた。そろそろ、出かけるのもいいかと思ひ誘いに乗ることに

した。

ジパングクラブの会費を毎年払い続けて、ようやく使えるという思いもあった。

どうしてなのかわからないが、準備の途中で先行も目的もがらりと変わり、滋賀県在住の同期のM君が山小屋を完成させたとのこと、そこを拠点に湖北にある高島トレイルの赤坂山に登るとのこと。標高は823.6m。麓のマキノ高原からは標高差600mほどか。しかし、2010年に富士山に登って



M君の「秘密基地」

以来ほとんど山らしい山には登っていないので、とても不安。最近では階段を上るだけで息が切れる。医者からは歩け歩けと言われているので、この際少しウォーキングをして準備し、それでもダメなら高原で留守番でもいいか、と気楽に出発。

名古屋でO君、京都でT君と合流し湖西線の堅田駅でM君を迎えよう。M君の自宅を経由して、まず、M君の趣味の農園に向かう。途中、パンやキムチなど食料品を調達。農園では、レタス、キャベツ、エンドウなど新鮮な野菜を調達。現役農家のT君はその出来の良さに盛んに感心していた。シェフO君の指示の元、今夜の焼き肉や二日分の朝食の材料を調達後、いよいよM君自慢の山小屋へ。古い別荘を安く買い取り、自力で改修して立派な「山小屋」にしている。遊び心満載のまさに男の隠れ家、秘密基地。ここで、マイカー参加のE君が合流。

一泊目は、テラスのバーベキューコンロを使い焼肉パーティー。久しぶりの再会を祝って大騒ぎとなり、大いに飲み食いをしたのち、シュラフに潜り込んで明日の登山に備えることとなった。

私のいびきで迷惑をかけた夜が明け、シェフO君の朝食を食べてから赤坂山に向かう。マキノ高原は歴史のあるスキー場で有名だが、今はリフトが廃止されファミリーゲレンデとして幼児連れに人気があるとか。また、防風林として植えられたメタセコイア並木が

「映える」風景として人気があるらしい。その並木を車で走り登山者用駐車場に車を置いて歩き始める。キャンプ場となっている広大なスキー場の芝生を抜けて登山口に。丸太の階段の急登から始まり、広葉樹林帯をひ



たすら登る。雨水のため道が谷状に掘れて歩きにくい。皆元気でペースが速いが、私は昨夜の酒が残り、体が重い。

ようやく滋賀福井の県境である稜線上の栗柄越に到着。ここからは森林限界を越えてすばらしい景色だ。冬の豪雪と強風により標高750mにもかかわらずまるでアルプスの稜線を思わせる。赤坂山山頂はもうすぐ。山頂は4等三角点ながら琵琶湖方面のすばらしい景色。北東方向に「明王の禿」という岩峰とガレ場の特異な地形が見える。元気なE君はぜひ明王の禿までピストンしようと提案するが他のメンバーの反応がない。私などは帰りが心配で皆と別れて同じ道を下山しようか悩んでいたが、結局ピストンなしで稜線を寒風山まで縦走することとなった。E君ごめんさい。

寒風山までの稜線は、草原と根が豪雪により大きく曲がったブナ林の中を行く気持ちのよい道だ。日本海からの強い風が気持ちよい。気が付くと北に日本海、南に琵琶湖が見える。稜線上の木陰で昼飯を済ませ寒風山へ。途中のブナ林はT君が感動するほど素晴らしかった。寒風山からマキノ高原へ下山を開始。花は終わっていたがイワカガミの大群落に感激しながら高度を下げる。下り道は規則的なジグザグで急坂だが歩きやすい。でも、さすがに私の足は限界を越えているようで、右ひざは時々ピリッと痛むし、左太ももはつってばかり。2本ストックに助けられようやくく

キーゲレンデへ到着した。ここで温泉に入
て汗を流し、一度小屋に帰ってから、M君
が予約したレストランで夕食とする。

ここは琵琶マスにほれ込んだオーナーが
やっている琵琶マスと近江牛と近江鴨が堪能
できる洒落たレストラン。満腹のおなかを抱
えて小屋へ戻り消灯とした。

最終日、シエフO君の朝食後、日本海に行
くか、賤ヶ岳に登るのかいろいろ案は出たも
のの結局、琵琶湖畔でまったりすることな
り湖畔へ。藤棚の下で何するでもなく時を過
ごし、次回は北岳に登ろうとか、雲ノ平に行
きたいとか話は尽きなかったが、11時になっ
たので、すぐ近くの喫茶店でこだわりのカ
レーを食べコーヒーを飲んで解散する。

コロナ過で出来なかった山行がようやく実
現し、仲間と楽しい時間を過ごすことができ、
かけがえのない2泊3日の旅となった。

榛名山Wを終えて

企画振興部 BN 859 丸山 貞一

5月21日(土)、参加者8人で榛名山を目
指しました。今回は高崎在住のBN875菊池(旧
姓丸岡)美代子さんも参加してくれました。
菊池さんは私の同期ですが、久しぶりの再会
です。

榛名山といっても単独の山がある訳ではな
く、掃部ヶ岳(カモンガタケ)を中心とした
榛名湖の外輪山一帯を総称して呼ばれていま

す。今回は榛名湖南側の明神峠から天目山を
経て伊香保温泉に至るルートを縦走する計画
です。

8時15分に高崎駅に集合し、8時30分発の
榛名湖行き群馬バスに乗り込み、9時48分
神峠に到着。あいにく、時々小雨の降る天気
でしたが、雨具を着けるほどでもなく9時55
分出発。登山道は「関東ふれあいの道」とし
て木道が整備されていますが、いきなりの急
登で全体的に早くもばて気味となりました。
しかし、100mも登ると左手に榛名湖と榛



名富士が姿を現し、疲れを癒してくれます。

榛名富士は名前の通り、お椀を伏せた様な
綺麗な円錐形で緑豊かな山です。新緑に映え
るツツジを見ながらアップダウンを繰り返
し、10時55分天目山山頂(1,303m)に
到着する。改めて、榛名湖と外輪山の眺めを
楽しめましたが、天神峠からの標高差200
mは結構きつかったです。スルスルの東屋で
遅めの昼食を取りますが、予定時刻を過ぎて
いたため、コースを変更してヤセオネ峠に下
り、バスで伊香保温泉に向かうことにしまし
た。しかし、元気溢れる大賀会長と杉山さん



山つつじの群落

は、予定通り相馬山に登って伊香保温泉に下るコースを行くため、2人とはここで別れました。

伊香保温泉には、バス組が早く到着しましたが、有名な石段を94段上がった石段の湯に着いて間もなくすると、大賀会長と杉山さんが石段を下りてきました。バス組とあまり変わらない二人の健脚ぶりにはバス組は皆驚きました。温泉で疲れた体を癒した後、温泉街で打ち上げをして帰路に就きました。

OB・OGの皆さんには、山から遠ざかっている方も多いと思いますが、なため会の山行は、ゆっくりと山を楽しむ企画です。更に下山後には、必ず温泉と打ち上げが待っています。それが楽しみで参加される方もいます。1年に4回、企画していますので、体力に自信がない方も、気軽にご参加ください。お待ちしております。

■なため会ワンデルングの今後の予定

2022/10/15(土) 第78回 天城山
2023/2/18(土) 第79回 行先未定

※お問合せは左記アドレスの企画振興部宛にお願
いします。(企画委員全員へ転送されます)。

kikaku@natamekai.org

電話またはショートメールをご希望の方は左記
担当者宛にお願ひします。

BN 859 丸山 貞一 090-80648-0002

〈バックル授与式〉

広報推進部

さる2月25日(金)、神田駿河台の大学に隣接する会議室において部の総会が行われましたが、それに先立ち、3年振りとなるバックルの授与式を行いました。

この時期はまだ学校施設の使用が認められていなかったことから学外での開催となりましたが、新OBを迎える大切な行事が再び対面で行えることに感謝するとともに、このコロナ禍にも関わらず多数の部員が一堂に集った光景に、MWVのさらなる発展を感じさせるものでした。



なため会の大賀会長(右)からバックルを受け取る新OB

〈現役活動報告〉

監督 諏訪本 充弘

学生生活も徐々にコロナ以前に戻りつつありますが、大学としてはまだまだ瀬踏み状態にあります。当部としても活動を元の軌道に乗せるべく、徐々にではありますが活動のレベルを上げて行きたいと思えます。

4月3日、10日、17日に2・3年生を3班に分けて、東京都松原村の都民の森→三頭山→鶴峰のルートで新人を迎える強化ワンデルングを行いました。3日は雪のため都民の森周辺のワンデルングに切り替えましたが、10日は予定通りこなしました。私も鶴峰で出迎え、下山路は山道以外を歩かせましたが、いい読図の教習になったようです。続いて5月6日に3年ぶりに新人を交えて総会を行いました。今年の新入部員は29名で内女子部員は9名、部員総数73名となり、5班集体で運営していきます。今年はいよいよ対面授業が再開され、高橋部長の話では「こんなに人がいたのかな?」と思えるほど出席率のいい授業を行っているそうです。学生も授業に飢えているようで、隔世の感があります。

新人養成合宿は5月13日～15日、20日～22日、27日～29日の日程で3年ぶりに本来の形で行うことができました。6月末と7月初旬には八ヶ岳・那須・鳳凰方面で初夏ワンデルングも予定しており、ようやくMWV的日常が戻りつつあることを報告できるのはうれしい限りです。

以下、10～12頁に新人養成の感想文を2本掲載します。少々長いですが現役学生の「今」が読み取れるユニークな内容ですので、是非ご一読ください。

2022年度 なため会幹事会報告

なため会幹事長 柳川 俊泰

なため会会員の皆様

2022年度幹事会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から書面決議による開催と致しました。5月29日締切で決議を求めたところ、68名の幹事の参加があり、全ての議案に対し賛成を投じていただき、承認されました。議案並びに議案要旨は次の通りです。

1. 議案

- 第一号議案 2021年度事業報告
- 第二号議案 2021年度決算報告
- 第三号議案 2021年度監査報告
- 第四号議案 2022年度組織変更案
- 第五号議案 2022年度事業計画案
- 第六号議案 2022年度予算案

2. 議案要旨 ※詳細は14～16頁をご覧ください

第一号議案 2021年度事業報告 2021年度は新型コロナウイルスに対する感染防止策が4月から9月まで続き、解除も束の間デルタ株、オミクロン株とコロナウイルスに翻弄された1年でした。解除中においても多人数での飲食自粛、大学による施設の貸し出し停止などがあり幹事会、会員総会、忘年会など対面での活動は本年度においても中止といたしました。

幹事会は5月のみ、書面決議での開催といたしました。

なため会ワンデリングは緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除された10月に金峰山において行いましたが、他の3回は感染防止の観点から中止といたしました。

薫風は年2回予定通り発行することができました。

運営委員会につきましてはWEB、メールでの会議を行い活動を続けてまいりました。

山小屋管理は、6月は大学からの施設使用禁止でワークを中止、年末に奥鬼怒山荘のワークを行いました。また、2月には現役による針生山荘、奥鬼怒山荘の雪下ろしを実施いたしました。

歓送迎会は本年度も中止としましたが、現役の春合宿の部員総会の開始前に時間を貰い、21年度卒業生にバックルを贈呈いたしました。

第二号議案 2021年度決算報告 会費収入は391名、476口と予算に対し24口の未達となりましたが、前期実績に対しましては16口の増加となりました。

支出につきましては、新型コロナ禍において集会を自粛したことで、会員総会、幹事会、歓送迎会等会合にかかわる支出がありませんでした。また現役の活動がほぼなかったことから支援費の支出もありませんでした。

本年度は全会員に対しノベルティ（名入りボールペン）を贈呈いたしました。

第三号議案 2021年度監査報告 監査報告書のとおりです。

なお、資料を監事に送付しWEBで質疑応答を行いましたことから報告書は記名のみとし、押印は省略させていただきます。預金残高は残高証明書で確認しました。

第四号議案 2022年度組織変更案 柳川幹事長が任期満了となりましたが再任を提案。日暮副幹事長は幹事長と同じく任期満了となりますが退任することになり、後任に平成8年度卒尾崎剛史君を推薦しました。現在、浜松市在住ですが十分役割を担えると考えています。

また、総務部部长に清水晴日君、総務部副部长に大村研君、事業運営部副部长に川澄剛史君が選任されていましてことをご報告しました。

第五号議案 2022年度事業計画案 3年ぶりにコロナ事態の無い新年度を迎え、大学も対面授業を主体に学校運営を行っていく方針で昨年度と比べれば大いに活動の幅が広がっていくものと期待し、会合等活動を予定しています。とはいえ、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありませんので、都度状況を見極めての活動になります。

今年度は5年に一度の名簿作成の時期に当たります。1月に作成、配付を予定し、準備をしていきます。

第六号議案 2022年度予算案

会費収入につきましては、前年度と同じ500口150万円としました。

支出につきましては、コロナ以前の平時の状況での活動を前提に計画しています。

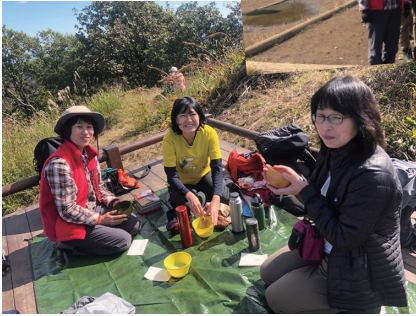
歓送迎会は19年度～21年度の卒業生も加えた人数を想定していますので卒業生会費が高くなっています。

周年行事の名簿作成は、従来と同じ製本での作成費と個人データの確認にかかる費用を想定しています。

支出合計は216万円ですが周年行事と予備費を除く例年の支出ベースでは161万円となります。それでも会費収入を上回る計画となっておりますが、予算執行に当たっては節減に留意し、費用を抑えてまいります。

以上

2021
10月23日
詫間



BN.1093 詫間 八千代

井上 泰子 (BN.1059) 祢津 尚美 (BN.1094) 亀山 亜矢子 (BN.1095) とともに陣馬山頂にて晴天で360度の展望でした。山頂の茶屋ではおでん、お汁粉、豚汁等どれも美味しく、また野点をして自然の中でお茶を楽しみました。景信山から下山し高尾のカフェでごはん。食べてばかりでのんびり楽しい女子旅でした。

ワンダラーのフォト日記

2022
3月19日
上原



BN.1115 上原 誠
酷暑と雪の白駒池にて
東京では雪が恋しい...

2022
2月6日
柳川



BN.792 柳川 俊泰

静岡でも滝が凍ります。2月6日真富士山大滝。

2022
4月3日
河原崎



2022
5月7日
小林

BN.898 小林 香織

大好きなニョウサク採りに初めて行きました。葉っぱの開いていない一番若い茎だけ採取。



本日の収穫塩漬けにして、来春まで楽しめます♪



BN.899 河原崎 奈津子
妙有本寺比企一族の屋敷がここに
姿もみえませんが、静かな森に囲まれている
右端には前撮りの幸せなお二人の
左は満開の海棠(かいまるとう)

2022
5月8日
小田野



BN.775 小田野 義之

GWの後半、鳥海山でスキーをしていました。
3日間、驚くほどの快晴でした。

2022
6月11日
鈴木



BN.887 鈴木 規生

コロナ禍で会えなかった仲間との久しぶりの再会。会えば一瞬で気分だけ!?は学生の頃に戻ります。やっぱり楽しい同期会でした。

2022
6月25日
長谷



BN.1156 長谷 央

スルベリー狩りに行ってきました。
実はこちらワンゲルの後輩の農園。
JR 中央線豊田駅から歩いていける阿川農園。
皆さんもぜひ行ってみてください!

2022
2月11日
諏訪本



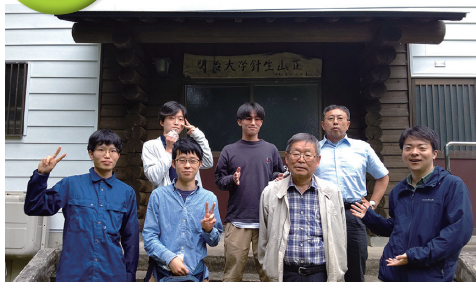
針生山荘で雪下ろし。
今年はドッサリ積りました。

2022
3月1日
諏訪本



埼玉県越生町の黒川三滝でフリースラン W の学生を出迎え

2022
6月12日
諏訪本



BN.751 諏訪本 充弘

正部員養成とリーダー養成の下見で井上・諏訪部
両コーチと4年部員と共に針生に入荘



2022年度
新人養成
合宿

1年
山口 瑛士

合宿後にまさか感想を書くとは思っていませんでした。少々文がとっ散らかっているかもしれませんが、それも一年目の頃ならではの「味」として残しておこうと思えます……。

せんが、それも一年目の頃ならでの「味」として残しておこうと思えます……。

明治大学に入学する前の3月に国立新美術館で開催されている「メトロポリタン美術館展」に行きました。そこで初めてクロード・ロランの絵を生で観たのだが、絵画横の説明文によると、かの有名な「チャエモ約2000年前に彼の作品を観て感動し、涙しながらこう言ったという。」「昨日の夕方ごろ、クロード・ロランにすっかり魅了されて、とうとう長い間激しく泣き出してしまった。」「こうしたものを体験することが私になお許されていたとは！私は、この大自然がこうしたものを示すとは、そのときまでは知らないでいて、それは優れた画家たちが虚構したものだろくらいに考えていた。この英雄的・牧歌的なものはいまや私の魂を暴露するものだ。そして、古人たちのすべての牧歌風のもの、一挙に、いまや私に対してあらわにされ、明らかにされたのだ——いままで私はこうしたものについて何ひとつとして理解していませんでした。」


僕はこの言葉の「英雄的・牧歌的なもの」というところがどうもピンと来なかった。なぜ彼はロランの風景画を見て自然を英雄的であり、牧歌的だと相反する言葉で表現したのか、この疑問の答えが今回の合宿でようやくわかったような気がする。

今回の合宿で一番しんどかったのはやはり2日目の茶臼岳へのピストンだと思う。初日の疲れも少しあったがこのしんどさの原因はなんと言っても暴風暴雨だ。真っ直ぐ歩けないほどの強風に加え、痛みを伴うレベルの強雨。メガネは雨と霧で曇り、視界は常にぼやけている。ストック（木の棒）をもつ手は軍手が雨に濡れ、風により冷やされるといって「コンボにより冷たくなっている。森林限界のため植物は見当たらずゴツゴツとした岩道が続く。とはいえ「茶臼岳 標高1915m」と書かれた標柱を目にした時、今までのキツさが吹っ飛ばすほどの達成感が湧き上がった。しかし、物語同様冒険には帰還がつかものであり、テレビなどで登山を扱う際は山頂までの道のりしか映さないため、このことを忘れていた。帰りの暴風雨の状態は変わらず、体力どころよりもそこは精神的なキツさがあった。

その後三斗小屋温泉に向かった。茶臼岳は関東地方を代表する活火山らしく、雨の中の入浴となったが、その熱で温められた温泉は冷えた体だけでなく、心まで温めてくれた。何よりその後の延命水が最高だった。温泉後、サイト地に戻るとこのまにか雨は止み、夕飯を終え、片付けに入る頃には夜空に浮かぶ月がはっきりと見えるほど天気は回復していた。温泉で暖かくなった体は適度な風でゆくりと冷まされ、その日はとてもよく眠れた気がした。僕はこの2日目に先の答えを見た。自然は時として我々に暴風暴雨の試練を課し、精神力を奪うように力強い「英雄的」な顔をもつ一方で、温泉は我々の疲れた心身を癒し、湧水は乾いた喉を潤すなど、その偉大な力を我々に与えるような悠然とした「牧歌的」な顔も持つのだ。つまり適度な「アメとムチ」なのである。この二面性こそ多くの人が山に魅了される理由ではないか。

さて、今回の合宿は上記の疑問が解決したようない点ばかりではない、自分の中で今後に向けた反省点が多く見つかった合宿でもあった。まず、挙げられるのは時間意識だ。例えば2日目の朝、3:30に起きることはできたがその後の着替え、荷物のパッキングに時間を取られ、朝食の準備が少し遅れてしまった。片付け終わった後も鍋などのパッキングに手間取り、予定を大きく遅らせてしまった。また、初日には駅のホームで着替えてしまい、班のメンバーだけでなくタクシー会社の方も待たせてしまった。山行中のレストでも出発と言われてから準備を始めてしまうなど、普段の時間意識の甘さが出てしまった。問題点としては意識的な面はもちろんだが、朝6人全員が自分の支度を終えてから動き出していたり、片付けも6人全員で取り掛かるなど、しっかりと役割分担を行わなかったことが挙げられる。そのことを指摘され、先輩方のアドバイスのもと役割分担をした3日目の朝は比較的スムーズな準備ができたため、先輩方が考えてくれた予定を守れるよう今後もこれ続けていきたい。

※コンボ：“連続攻撃”を意味するゲーム用語



新人養成コース
2班
那須岳

白笹山↓南月山↓茶臼岳
↓朝日岳↓三本槍岳

「別日程で1班と同じ」



次に持ち物の不備だ。大きな忘れ物というのはなかったが、小さな忘れ物があった。メモ帳だ。企画書の持ち物に書いてあったのだが、地形図の裏に書けば事足りるだろうと思い、持っていかなかった。だがメモ帳を使うような機会は主に山行中の分岐やレストの始終など機動性を伴うような場面であり、わざわざ地図を取り出して書く時間はなかったのだ。2日目はなんとか地図の裏側に書き込んでいたのだが、その大きさ故か風に煽られ紛失、故意ではないとはいえ結果的に山にゴミを残してしまった。これは想像力の欠如が招いた失敗である。パッキングの際、これは何に使うのか、使う場面・頻度はどのようなものなのか、これを考えることができればこのようなことはなかった。今後は少し考えてからパッキングしたい。

新人養成合宿を終えた一年生といえど、自分は新人というお客様ではなく明治大学ワンダーフォーゲル部の一員である、という意識を持ち、班に何かしらの貢献をしていけるよう励む一方で、一年後には自分達に後輩ができ、指導される側から指導する側へと変わるため、こういった失敗も過去の経験談として後輩にアドバイスを与えられるような良い先輩となれるよう、努力していかなければならない。

2年
古谷望

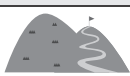
今回の新人養成合宿の始まりは最悪なものだった。今回の合宿は私にとって5ヶ月ぶりの合宿だった。と言ってもこの間に2回程日帰り山行に参加していたので、全く山に登ってなかったわけではない。しかし、私の左膝は完治したのか、1日目で痛くなったらどうしようか、など久しぶりの合宿で非常にビクビクしていた。しかも今回私は大事な大事な相棒のサポーターを家に忘れてきていた。結論から言うと、膝を山行中に痛めることはなかった。私の膝はほぼ復活したのでは!と、下山した後密かに心の中で自分を胸上げしていた。本当に嬉しかった。だが膝を痛めなかったのは山行中である。これは1行目の「最悪な始まり」に繋がる話だ。何があったのかと言うと、私は今回、時間の関係で特急を使って集合場所に向かおうとしていた。地元千葉駅から集合場所の塩山駅まで、煩わしい満員電車を回避して快適な特急旅ができるとルンルンだった。千葉駅で乗り換えて特急のホームまで歩いていったとき、この時私は山靴の靴紐をゆるゆるな状態にして移動していたのだが、これはただの自業自得で一方のゆるゆる紐がもう一方の靴のフックに引っかかってしまったのである。そうしたら当然、次の足は動かさず、私は両足を綺麗に揃えた状態で派手に頭から転倒してしまった。急に視界が暗くなるものだからビクリしし、前から来ていた通行人に思いっきり情けない姿を見られて萎えた。しかもザックが後頭部に思いきり乗っかっていたせいで自力で起き上がれず、もうこのまま倒れたままでもいいようにしていた。その時、光が差し込んだ。前から来ていたおじいさんがザックを持ち上げて助けてくれたのである!「大丈夫かい!」「今ザック持ってるから」「スマホも拾って」。近年コロナで疎遠になっていた、人のあたたかさに触れて泣きそうになった(?)。その後はなんとか特急に乗った。肩間と左膝はジンジン痛くて、久しぶりに鼻血も出した。本気で家に帰ろうとしたけど、頑張っって塩山駅に着くことができた。以上が「最悪な始まり」で、その後は5班に会えてHAPPY☆を感じた。

やっと合宿の本編に入れる。まず、今回の合宿で良かった点は3つ。1つめは、さつきも言った通り怪我しなかったこと。2つめは、1年生と山に登れたこと。私は最後の方を歩いていたから(祝!脱セカンド!!)登ってる間おしゃべりとかはできなかったがサイトワークとかで色々交流できたし、コミニケーションすることなく仲良くなった気がする。皆、良い子で体力もあって、サイトワークもテキパキ行動できていた。3つめは、天気がそれほど悪くなかったこと。予報では「警報級の大雨」とか言っていたのに。笠取山の山頂は本当に見晴らし良く最高だった!

逆に、今回の合宿で悪かったこと、改善したいことは2つある。1つめは、先輩としての意識である。言われるまで「1スタイム、標高を記録していなかったことや、1年生への指示出しである。指示出しに関しては、先輩ぶるのに日和ってしまい、完璧に指示できたとは言えなかった。初夏フリーでは最初から地図を読みながら記録を取っていきたい。2つめは、己の体力不足である。今回の山の難易度的にも、なだらかな道が多かったが、笠取山の山頂直前で堪えた。近頃、日常生活が忙しいことを理由にトレーニングが全くできていなかったため、無理矢理にでもトレーニングする時間を



新人養成コース
5班
雁坂峠
雁坂峠↓水晶山↓古礼山
↓雁峠↓笠取山

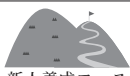


新人養成コース

1班

那須岳

白笹山↓南月山↓茶臼岳
↓朝日岳↓三本槍岳

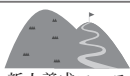


新人養成コース

3班

雲取山

七ツ石山↓雲取山↓
三峰神社



新人養成コース

4班

赤城山

鍋割山↓荒山↓長七郎山
↓駒ヶ岳

作りたいと思う。

それ以外の感想については、簡潔に述べていく。まず、ご飯が美味しかったこと。1日目夜のタコライスは私考案だが、ミートソースからタコライスを作るのは初めてだったので、あのタコライスの味を再現できるか少々不安だったがチリパウダーがなかなかいい仕事をしてくれた。レタスとトマトとアボガドもつけられて非常に満足であった。次はガバオライスにする。(ひき肉大好き芸人)。あと、おうどんも焼きそばも炊き込みご飯も全部美味しかった。次に、5班と親睦を深められたこと。2日目は早くに笠取小屋に到着したので、ババ抜きやUNOをやった。頭の使うゲームは良く分からなかった。夜は外で小島王をやった。なぜか古谷王もした。非常に楽しかったが、唯一後悔していることは良いボケをかせげられなかったこと。このままじゃまだ天下はとれないと痛感した。(何目指してるの?)。最後に、合宿全体の感想を総括すると、久しぶりの合宿で嫌な思いや反省点も出たが、新しく1年生も5班に加わって非常に楽しい合宿だった!5班の一見平凡そうな見た目をしていて、中の人たちはなかなかキャラが濃いのが私は好きである。

P.S.今回マイトレッキングポールが初参戦したが、最高すぎて途中からずっと使ってしまっていた…。手放せない…。

■ ため会運営委員の募集

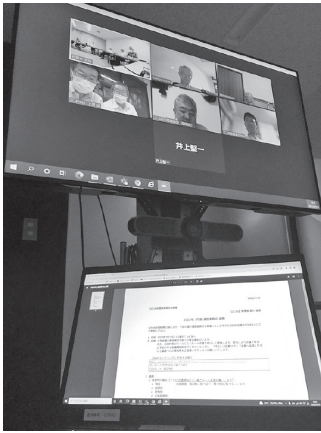
なため会では会の運営に携わっていただける方(運営委員、各部会員)を募集しています。運営委員会は原則として月1回 第二火曜日の18:30から開催しています。従来は大学会館6階の体育記念室で行っていましたが、コロナ禍以降はメールおよびリモートでの開催となっています。

このほど大学施設の使用が再開されましたが、参加者の便宜を考慮し、今後は実開催と合わせてZOOM機能を使ったりリモート参加も併用したハイブリッド型で行っていくこととしました。これにより、ご家庭や職場から、また遠方からでも参加が可能となります。

ご希望の方は幹事長まで電話またはメールでご連絡ください。

幹事長 柳川 俊泰(792)

電話：0800-2551-5445
メール：toshio322_0108@yahoo.co.jp



直近の運営委員会の模様
左2画面が実開催(12名出席)、
他5画面がリモート参加者

■ 会員情報等連絡先のご案内

住所変更や慶弔事など、なため会々員の動静は左記の総務部宛にメールまたはファックスにて送信していただくか、あるいは直接担当者までご連絡願います。

総務部アドレス：soumu@natamakai.org

ファックス：03-55539-4245

大村 研(1086)

住所：〒362-0811 埼玉県北足立郡伊奈町西小針4-52

電話：060-1101-6450

メール：omuraken@krdbiglobe.ne.jp

訃報

- BN 124 山本禮次郎OBが2015年にご逝去されました。
- BN 202 高橋一雄OBが2017年7月16日にご逝去されました。
- BN 574 瀧村和雄OBが2021年5月6日にご逝去されました。
- BN 306 高山 實OBが2021年12月29日にご逝去されました。
- BN 195 高梨晃放OBが2022年1月18日にご逝去されました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げます。



■ 投稿募集のご案内

薫風では幅広い世代の皆様からの投稿をお待ちしています。

【テーマは問いません】

山やワンデルングにまつわるお話などに囚われず、趣味の世界や日常生活でのちょっとした出来事など、あらゆるジャンルのお話をお待ちしています。

※原稿用紙3枚程度にまとめていただけると助かります。

【投稿のスタイルも問いません】

「文章はちょっと…」と思っつらっしゃる方は、お写真だけの投稿も大歓迎です。本誌では「ワンダーのフォト日記」と題したスナップ写真のコナーを設けています。簡単なコメントを付けていただいただけでOKですので、是非お気軽にご投稿ください。

【広告も募集しています】

自営業の方のPR広告などにご利用いただいておりますが、例えば地方在住で観光業に携わっている方や、通信販売で商品販売をされている方からの販促広告なども掲載させていただきます。サイズや掲載料等は左記の送付先までお問い合わせください。

【締め切りについて】

第66号(来年1月発行予定)について
期 日：12月23日(金) ※必着でお願いします。

送付先：広報推進部 井上 稔也(879)

住所：〒176-0022 東京都練馬区向山4-12-16

電話：070-5466-1515

メール：maromaro.maron8@gmail.com

2021年度 なため会決算及び監査報告
(自2021.4.1 至2022.3.31) 財務部

2021年度事業報告

【支出の部】

項目	2021年度予算	2021年度実績
MWV支援費	537,800	0
MWV活動補助費	200,000	0
駿台体育会カレンダー購入費	0	0
歓送迎会運営費	283,800	0
卒業生会費	120,000	0
現役会費補助費	100,000	0
会場使用料	52,800	0
吊着板代	11,000	0
懇親会参加補助費	54,000	0
なため会活動費	915,910	698,267
総務部	323,000	289,574
会議案内通信費	80,000	39,765
薫風運送費	160,000	162,379
慶弔費	70,000	84,430
事務用品費	2,000	0
名刺作成費	6,000	3,000
明大スポーツ新聞購入費	5,000	0
財務部	88,000	74,949
会費集金手数料	78,000	69,889
振り込み手数料	10,000	5,060
広報推進部	303,000	255,894
薫風制作費	250,000	234,960
薫風制作通信費	2,000	214
ホームページ維持管理費	11,000	11,000
プロバイダー更新費	30,000	0
ドメイン更新費	10,000	9,720
山小屋管理部	85,000	55,370
奥鬼怒山荘ワーク補助費	85,000	55,370
企画振興部	30,000	0
ワンデルングマネージ費	20,000	0
ワンデルング用医薬品費	0	0
予備費	10,000	0
事業運営部	86,910	22,480
会場使用料	52,800	0
吊着板代	11,000	0
通信運搬費	1,000	370
花束代	0	0
ZOOM年会費	22,110	22,110
駿台体育会活動費	155,000	50,000
駿台体育会分担金	50,000	50,000
駿台体育会理事活動費	105,000	0
会費増収推進費	190,000	118,170
地域親睦会案内通信費	40,000	0
ノベルティ製作費	150,000	118,170
予備費	0	0
周年行事費	0	0
会員名簿製作費	0	0
バックル製作費	0	0
予備費	100,000	0
親睦会予備費	0	0
支出合計	1,898,710	866,437

【収入の部】

前年度繰越金	5,759,105	5,795,105
会費	1,500,000	1,429,000
利息収入	0	25
諸収入	25,000	2,000
薫風広告収入	25,000	0
親睦会剰余金	0	0
その他収入	0	2,000
収入合計	7,284,105	7,190,130
収支差額	5,385,395	6,323,693

【なため会基金】

項目	2020年度末残高	2021年度末残高
藤岡家・鈴木家・柴田家寄付金	1,083,000	1,083,000
山小屋募金他	3,257,000	3,257,000
校友会館(紫紺館)建設基金	491,000	491,000
合計	4,831,000	4,831,000

〈資産内訳1〉

次年度繰越金	5,759,105	6,323,693
OB基金	4,831,000	4,831,000
次年度会費	1,049,307	1,000,324
資産合計	11,639,412	12,155,017

〈資産内訳2〉

通常貯金(ゆうちょ銀行)	2,584,923	3,222,608
普通預金(三菱UFJ銀行)	324,182	196,295
定額貯金(ゆうちょ銀行)	7,631,000	7,631,000
振替貯金(ゆうちょ銀行)	888,307	805,324
普通預金(みずほ銀行)	96,000	137,670
普通預金(三井住友銀行)	91,000	123,560
普通預金(りそな銀行)	24,000	38,560
資産合計	11,639,412	12,155,017

(補足) OB用バックルは21年度中に10個贈呈(途中加入1、卒業生9)したため、2022年3月31日現在の在庫数は97個、金額は419,040円になります。

財務部

上原 誠 (1115) 柳川俊泰 (792) 加藤嘉寛 (1107)

1 重点目標

- 1 会員サービスの向上
- 2 会費納入の促進
- 3 運営委員の増員

2 活動報告

- 1 2021・4・13(火) 運営委員会*1 (リモート会議)
- 2 2021・4・22(木) 2020年度会計監査*1 (ZOOM監査)
- 3 2021・4・29(木) 駿台体育会第1回理事会*4
(郵送・書面決議)
- 4 2021・5・11(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 5 2021・5・29(土) 幹事会*1 (郵送・書面決議)
- 6 2021・6・4(金)~6(日) 奥鬼怒山荘ワークワンデルング
(新型コロナに対策により中止)
- 7 2021・6・8(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 8 2021・6・9(水) 駿台体育会総会*4
(新型コロナに対策により中止)
- 9 2021・7・10(土) 第73回なため会W
(新型コロナに対策により中止)
- 10 2021・7・13(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 11 2021・7・17(土) 薫風63号発送 (上原誠法律事務所)
- 12 2021・9・14(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 13 2021・10・12(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 14 2021・10・16(土) 第74回なため会W (金峰山)
- 15 2021・11・1(月) 駿台体育会親善ゴルフ大会*4
(新型コロナに対策により中止)
- 16 2021・11・9(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 17 2021・12・8(水) 大学役職者と駿台体育会との懇親会*4
(新型コロナに対策により中止)
- 18 2021・12・11(土) 会員総会・幹事会*2
(新型コロナに対策により中止)
- 19 2021・12・29(水)~31(金)
奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 20 2022・1・11(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 21 2022・1・22(土) 薫風64号発送 (上原誠法律事務所)
- 22 2022・1・22(水)~23(金)
駿台体育会と体育会監督会との
合同研修会*4
(新型コロナに対策により中止)
- 23 2022・2・8(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 24 2022・2・19(土) 第75回なため会W
(新型コロナに対策により中止)
- 25 2022・2・25(金) 2021年度卒業生バックル授与式*3
- 26 2022・3・8(火) 運営委員会 (リモート会議)

- *1 新型コロナウィルス感染防止のため、中止または延期、またはZOOM及びメールでの会議(リモート会議)となりました。
- *2 「幹事会・会員総会(忘年会)」の開催は新型コロナ対策により中止とさせていただきます。
- *3 「卒業生歓送迎会」は新型コロナ対策により開催せず、現役員総会において「バックル授与式」のみを挙行。また、2019・2020年度卒業生の歓送迎会は次年度開催検討としました。
- *4 駿台体育会の諸行事においても新型コロナ対策により、中止又は縮小開催となりました。

【監査報告】

2021年度決算報告を監査した結果、その適正なことを確認いたしました。

2022年4月21日 監事 石田 正 (610) 横尾廣志 (728)

2022年度 なため会予算
(自2022.4.1 至2023.3.31) 事業運営部

【収入の部】

項 目	2022年度予算	2021年度実績
前年度繰越金	6,323,693	5,759,105
会費	1,500,000	1,429,000
利息収入	0	25
諸収入	25,000	2,000
薫風広告収入	25,000	0
親睦会剰余金	0	0
その他収入	0	2,000
収入合計	7,848,693	7,190,130

【支出の部】

MWV支援費	533,800	0
MWV活動補助費	100,000	0
歓送迎会運営費	343,800	0
卒業生会費	180,000	0
現役会費補助費	100,000	0
会場使用料	52,800	0
吊看板代	11,000	0
懇親会参加補助費	90,000	0
なため会活動費	924,910	698,267
総務部	320,000	289,574
会議案内等通信費	80,000	39,765
薫風運送費	160,000	162,379
慶弔費	70,000	84,430
事務用品費	2,000	0
名刺作成費	3,000	3,000
明大スポーツ新聞購入費	5,000	0
財務部	80,000	74,949
会費集束手数料	70,000	69,889
経費振込手数料	10,000	5,060
広報推進部	323,000	255,894
薫風制作費	280,000	234,960
薫風制作通信費	2,000	214
ホームページ維持管理費	11,000	11,000
ホームページ更新費	30,000	0
ドメイン更新費	0	9,720
山小屋管理部	85,000	55,370
奥鬼怒山荘ワーク補助費	85,000	55,370
企画振興部	30,000	0
ワンデルングマネージ費	20,000	0
ワンデルング用医薬品費	0	0
予備費	10,000	0
事業運営部	86,910	22,480
会場使用料	52,800	0
吊看板代	11,000	0
通信運搬費	1,000	370
花束代	0	0
ZOOM年会費	22,110	22,110
駿台体育会活動費	155,000	50,000
駿台体育会分担金	50,000	50,000
駿台体育会理事活動費	105,000	0
会費増収推進費	0	118,170
地域親睦会案内通信費	0	0
ノベルティ製作費	0	118,170
予備費	0	0
周年行事費	370,000	0
会員名簿製作費	370,000	0
バックル製作費	0	0
予備費	100,000	0
親睦会予備費	79,874	0
支出合計	2,163,584	866,437
収支差額	5,685,109	6,323,693

2022年度事業計画

1. 重点目標

会員サービスの向上
会費納入の促進
運営委員の増員

2. 活動計画

- 4月12日(火) 運営委員会^{*1} (リモート会議)
- 4月21日(木) 2021年度会計監査^{*1} (ZOOM監査)
- 4月25日(月) 駿台体育会第1回理事会
(駿河台103教室)
- 5月10日(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 5月21日(土) 第76回なため会W (榛名山)
- 5月29日(日) 幹事会^{*1} (書面決議)
- 6月3～6月5日 奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 6月14日(火) 運営委員会 (リモート会議)
- 6月22日(水) 駿台体育会総会^{*4} (未定)
- 7月12日(火) 運営委員会 (リモート会議) ^{注1}
- 7月16日(土) 第77回なため会W (霧ヶ峰)
- 7月23日(土) 薫風65号発送 (未定) ^{注2}
- 9月13日(火) 運営委員会 (未定)
- 10月11日(火) 運営委員会 (未定)
- 11月15日(土) 第78回なため会W (天城山)
- 11月 駿台体育会親善ゴルフ大会^{*4} (未定)
- 11月8日(火) 運営委員会 (未定)
- 12月 大学役職者と駿台体育会との懇親会^{*4} (未定)
- 12月9日(土) 幹事会・会員総会 (忘年会) ^{*2}
(リパティタワー)
- 12月29～31日 奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 1月10日(火) 運営委員会 (未定)
- 1月21日(土) 薫風66号発送 (未定)
- 1月 駿台体育会と体育会監督会との合同研修会^{*4} (未定)
- 2月14日(火) 運営委員会 (未定)
- 2月18日(土) 第79回なため会W (未定)
- 2月25日(土) 2022年度卒業生歓送迎会^{*3}
(リパティタワー)
- 3月14日(火) 運営委員会 (未定)

^{*1} 新型コロナウイルス感染防止のため、中止または延期、またはZOOM及びメールでの会議 (リモート会議) といたします。

^{*2} 「幹事会・会員総会 (忘年会)」の開催日・会場は学内行事との関連で変更あり (9月1日時点での予約状態による)。

^{*3} 「卒業生歓送迎会」は開催日・会場は学内行事との関連で変更あり (11月1日時点での予約状態による)。

^{*4} 2022/5/10現在、駿台体育会の各行事は日時未定。

注1 体育記念室での実開催とリモートの併用。

注2 体育記念室で実施。

なため会 組織 (2022年4月～2023年3月)

会 員 総 会

幹 事 会

■顧問	田村 敏夫(800)	新田 功(1100)	長峰 章(1000)		
■部長	高橋 信勝(1200)				
■相談役	小林 碧(197)	島林 順三(228)	大内 善一(299)	西村 幸一(313)	
	足立 康弘(339)	吉田 修(345)	内田 吉成(392)	天野 徹明(477)	
	鈴木 正彦(532)				

運 営 委 員 会

■役員	会 長	大賀 徹雄(661)			
	副会長	住田 孔一(717)			
	幹事長	柳川 俊泰(792)			
	副幹事長	尾崎 剛史(1174)			
	監 事	石田 正(610)	横尾 廣志(728)		
	駿台体育会理事	諏訪本充弘(751)	和賀井英雄(817)		
	参 与	奥倉 勇一(558)	横手 一男(683)	濱田 稔(795)	
	監 督	諏訪本充弘(751)			
	コーチ	井上 堅一(1064)	岩田 卓也(1265)	浜口小百合(1273)	
		諏訪部貴亮(1282)	由水 雅也(1306)		
■部 会	総務部	(部長) 清水 晴日(1075) (副) 大村 研(1086)	小田野義之(775)		
	財務部	(部長) 上原 誠(1115) (副) 柳川 俊泰(792)	加藤 嘉寛(1107)		
	広報推進部	(部長) 井上 稔也(879) (副) 住田 孔一(717) (副) 加藤 章一(845)			
		高田 昌也(865)			
	企画振興部	(部長) 丸山 貞二(859) (副) 山下 仁志(897)	龍 君江(838)		
		井上 堅一(1064)			
	山小屋管理部	(部長) 杉山 裕(705) (副) 小田野義之(775) (副) 植木 進(846)			
		諏訪部貴亮(1282) 奥山 昂(1330)			
	事業運営部	(部長) 山下 仁志(897) (副) 川澄 剛史(1216)	猪狩 稔(835)		
■運営委員	前田 芳弘(501)	池田 陽一(527)	野島 一雄(676)	猪狩 稔(835)	
	龍 君江(838)	高田 昌也(865)	加藤 嘉寛(1107)	奥山 昂(1330)	

上記以外の幹事

編集後記

BN 879 井上 稔也

感染者数の再拡大にも関わらず、どこか落ち着きを見せている昨今。ウイズコロナの柔らかなフリーズを、「もう何もありませんよ」「あとは自分で気を付けてね」という行政のよきにはからえメッセージと受け取った庶民の一人としては、世間様に気兼ねしつつも自分なりの行動様式を模索する日々を過ごしています。

近頃はリフレッシュ感を求めて出掛けることが増えましたが、神宮球場でのプロ野球観戦もその一つです。ホームチームとのお付き合いで度々会社からチケットが回ってくるので、夫婦で応援グッズを携えて俄かファンを楽しんでいます。

カミさんのイチ押しは選手ではなくマスコットの「つば九郎」。契約更改でシーズンオフの話題を提供したり、時に馴れ馴れしい態度や失敗を笑いに変える芸人魂を見せたりと、イケメン系のレオ君やあざとカワイ系のジャビット君など他球団のそれとは一線を画すおじさんキャラに結構癒されています。思っに、おじさんとは存在自体に意味がある、愛すべき隣人なのですが、それに気づかない若者が案外多いのではないかと、定年間際になって感じる今日この頃です(^.^)

発行日 二〇二二年七月
 編集 住田孔一 猪狩 稔 加藤章一
 高田昌也 井上稔也
 発行者 明治大学体育会
 ワンダーフォーゲル部なため会
 印刷所 三協印刷株式会社